

事業名		人権擁護活動推進事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	（6）さまざまな人が関わり合うまちづくり～地域経営～			その他の該当する位置付け	班名	総務班			
	施策	<2>人権の尊重と男女共同参画の推進				事業分類	1	公的関与		2
	主要施策						予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款		総務費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	（6）市民参加の促進と支援								
	重点事項	③ 市民参加の促進と活動支援								
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	市民								
	目的（どういう状態にしたいのか）	市民の基本的な人権の保護と自由人権思想の普及高揚を図り、誰もが等しく幸せで明るく、ともに手を取り合って暮らしていける穏やかで平和な社会を築く。								
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	○吉崎人権擁護委員協議会の活動を支援するため、吉崎市から補助金を出している。 事業内容（人権擁護委員：9人） ・特設人権相談所の開設（旧町単位で2ヶ月に1回程度）及び毎週水曜日に法務局にて相談受付 ・啓発パレード及び作文・書道コンクール等の実施 ○人権フェスティバルの開催 事業内容 ・人権講演会 ・市内小中学生によるアトラクション								
事業期間	平成 年度		～	平成 年度（年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）		1,143		1,147		1,147				
財源内訳	国・県支出金	478		478		464				
	地方債									
	その他特定財源									
一般財源		665		669		683				
人件費（千円）		581		581		581				
内訳	職員（人・千円）	0.10 人	581	0.10 人	581	0.10 人	581			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）		
	①	相談件数	件	111		105				
	②	コンクール等の参加者数	人	1,585	1,700	1,741	1,700	1,700		
	③	人権フェスティバル参加者数	人	217	200	307	250	250		
設定理由	コンクール等とは、作文・書道の2事業 ・作文コンクール 市内中学校4校：709 ・書道コンクール（市内小学校3年生以上）：1,032									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	性差別、障害者差別、部落差別など国内での問題に加え、近年では人種差別、宗教差別など大きな社会問題となっており、国際的に人権の尊重が問われている現在、学校教育、社会教育との連携を図りながら、人権尊重に向けた啓発の推進を図るとともに、人権擁護対策の強化に努めなければならない。 人権擁護委員は、無報酬で人権擁護活動に従事しており、市民の人権擁護に関し、人権擁護委員協議会が中心となり実施する事業については、市はその費用を十分に補う必要がある。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	人権相談や人権啓発事業等、地域社会に根ざした人権擁護活動を通じて地域住民の福祉に寄与している。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	人権擁護委員協議会の活動は、年度当初の計画どおり実施されている。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	人権擁護委員の活動財源は、主として市からの補助金で運営されているが、島外研修など自己負担を強いられることもある。ボランティアの委員の活動により、市内の人権意識の高揚が図られており、補助の効率性は高いと考えられる。				
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	学校教育、社会教育と連携を図りながら、人権尊重に向けた啓発の推進を図るとともに、人権擁護対策の強化を図る。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止					
	意見等						

事業名		更生保護活動推進業務				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～				班名	総務班			
	施策	<3>安心、ゆとりのある福祉社会の実現				事業分類	1	公的関与		2
	主要施策	②交通安全の確保と防犯体制の充実				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	総務費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	(6) 市民参加の促進と支援								
	重点事項	③ 市民参加の促進と活動支援								
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）					
	青少年（小学生・中学生）及び市民				更生保護協会吉岐支部及び保護司会の活動を支援し、市民が安全で安心して生活できる明るいまちづくりを推進する。また、中学生弁論大会を通して、青少年の犯罪や非行のない明るい社会の実現に向け意識高揚を図る。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか） 更生保護協会吉岐支部（吉岐地区保護司会・更生保護女性会）の活動を支援するため、吉岐市から補助金を出している。（保護司：31人、更生保護女性会：155人） ○事業内容 ・社会を明るくする運動啓発パレード ・社会を明るくする運動中学生弁論大会 ・小学生・中学生作文コンテスト									
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）			平成 27 年度（決算）			平成 28 年度（予算）		
直接事業費（千円）		737			737			737		
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源		737			737			737	
人件費（千円）		581			581			581		
内訳	職員（人・千円）		0.10 人	581	0.10 人	581	0.10 人	581		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	広報啓発活動		回/年	1	1	1	1		
	②	弁論大会観客数		人	80	300	540	300	300	
	③									
設定理由	・広報啓発活動については、社会を明るくする運動強調月間初日にパレード実施 ・弁論大会については、市内中学生及び保護者等の参加 ※H26年度の弁論大会は、台風接近のため開催が延期となり、発表者の保護者関係者のみ出席のもと開催された。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
説明	青少年の犯罪や非行のない明るい社会の形成に向けた意識の高揚と市民が安全で安心して生活できるまちづくりのため欠かせない業務である。 保護司及びその活動に協力する更生保護女性会は、無報酬で更生保護活動等に従事している。 青少年の犯罪や非行のない明るい社会の実現のため、更生保護協会沓岐支部が中心となり実施する事業については、市はその費用を十分補う必要がある。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
説明	保護司は、犯罪や非行を犯した人が地域の中で早期に更生できるよう助けるとともに、地域の犯罪や非行の予防を図る活動を実施しており、犯罪対策の面はもとより、青少年の健全育成の面からも有効である。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
説明	計画通り実施されている。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明	保護司等の活動は無報酬でのボランティア的活動である。市内で再犯罪や大きな事件などが起きていないことから、その活動の成果は、年間の活動状況から十分に上がっている。			
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	自治会、PTA、学校など地域との連携を密にし、保護司活動を支援することにより明るい社会の構築を推進する。27年度からは、市の施設を保護司活動の拠点として無償貸与している。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		交通安全関係団体の組織強化と育成に関する業務			作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～			班名	総務班			
	施策	<3>安全・安心の確保			事業分類	1	公的関与		4
	主要施策	②交通安全の確保と防犯体制の充実				予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想			款		総務費		
個別計画名		第9次吉野市交通安全計画							
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	吉野地区交通安全協会 吉野地区交通安全協会各支部 吉野地区交通安全母の会 吉野市幼児交通安全クラブ			目的（どういう状態にしたいのか） 交通安全の啓発や広報活動、そして交通安全教育の推進を行い、交通事故のない安全な交通社会を実現することを目的とする。				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	交通安全広報啓発活動、街頭指導活動、交通安全研修の開催、各種交通安全行事への参加等を行い、吉野市内の交通事故防止に寄与する。							
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	吉野市補助金等交付規則								
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）	4,625		4,593		4,593				
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	4,625		4,593		4,593			
人件費（千円）	290		290		290				
内訳	職員（人・千円）	0.05 人	290	0.05 人	290	0.05 人	290		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	交通事故発生件数	件	66	0	56	0	0	
	②	交通事故による死者数	人	1	0	0	0	0	
	③								
設定理由	前年度に比べ交通事故発生件数は減少しているが、高齢者に関する事故等が多発しているため、今後も交通事故「0」を目標に取り組みを行う。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	各関係機関・団体と協力、連携を行い、交通安全の広報や啓発、街頭指導、交通安全研修の開催等あらゆる面から交通安全思想の普及に努め、幼児から高齢者までの交通事故の防止に寄与している。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	各団体の日頃からの地道な取り組みにより市民への交通安全思想が普及し、今日の吉岐市の交通安全環境が確保されている。今後も各関係機関・団体で連携を行い、交通安全に対する推進を継続していくことにより、よりよい交通安全環境の維持・確保に繋げることができる。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	前年度に比べ交通事故発生件数が10件減少した。しかしながら、高齢者に関する事故等が多発しているため、今後も交通事故「0」を目標に取り組みを行う。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	吉岐地区交通安全協会を中心に関係機関・団体が協力し、交通安全に対する普段の地道な活動を行ったことにより、前年度と比べて交通事故発生件数が減少した。今後も継続して活動を行い、市民に交通安全思想を浸透させることにより、交通事故の防止に繋げる。				
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	3	効率性	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合
	今後の改革・改善目標	<input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
説明	高齢者に関する事故が多発しているため、高齢者に対する取組に重点を置き、交通事故発生件数の減少に努める。				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		高齢運転者体験型講習委託事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～				班名	総務班			
	施策	<3>安全・安心の確保				事業分類	1	公的関与		4
	主要施策	②交通安全の確保と防犯体制の充実					予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款		総務費		
個別計画名		第9次壱岐市交通安全計画								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段		各町老人クラブ会長からの推薦、アンケート調査								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	市内在住の65歳以上の高齢運転者		急速な高齢化社会の到来と共に、高齢者に関する交通事故が多発している。そこで、高齢運転者に対し、実践・体験型講習を行い、日常においても、個々の能力に応じた運転を心がけてもらい、高齢者に関する交通事故の抑止を図る。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		高齢運転者に交通ルールや自身の運転能力を再認識してもらうため、市、自動車教習所が共同で2年に一度講習会を開催している。講習会で、高齢運転者に実際に車を運転してもらい、教習所職員から直接指導を受けることにより、日常の安全運転・交通事故の防止に繋げる。							
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）		0		85		0				
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源				85					
人件費（千円）		0		232		0				
内訳	職員（人・千円）		人	0	0.04 人	232	人	0		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 目標 実績		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	高齢運転者体験型講習受講者数		人	0	20	17	0	20	
	②	アンケート調査による受講者の満足度		%	0	100	100	0	100	
	③	高齢者（65歳以上）に関する交通事故発生件数		件	34	0	27	0	0	
設定理由	受講者のアンケートにおいて、「今後日常の運転に役立つ」と回答した方が全員であり、大変意義のある講習である。現在、65歳以上の高齢者に関する交通事故が全体の約半数を占めている状況であり、今後も継続して実施することにより交通事故の防止に繋げる。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	市内の高齢者に関する交通事故発生件数はH26が34件（全体66件）、H27が27件（全体56件）と全体の約半数を占めている状況であり、この事業を有効に活用することで、高齢者の交通事故防止を図ることができる。			
	説明	交通事故を減少させるには、全体の約半数を占める高齢者が関わる事故を抑止することが重要であり、この事業を高年齢運転者に広めていくことで、高齢者に関する交通事故の防止を図る。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	受講者全員から「今後日常の運転に役立つ」という評価を得ており、効果的な講習となった。			
	説明	受講者からは、一定の評価を受けているが、受講人数には限りがあるため、講習内容を受講者から地域に広めてもらい、全体の交通事故防止に繋げる必要がある。			
個別評価	妥当性	4	有効性	3	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討			
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	高齢者に関する交通事故が全体の半数を占めている現状と受講者アンケートや警察署からの要望を考慮して、現在隔年で実施している講習会を毎年実施し、より多くの方に受講してもらうことにより、高齢者の交通事故防止を図る。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		地方バス路線維持費補助金				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(5) 国内外交流が盛んなまちづくり～国内外交流～			その他の該当する位置付け	班名	総務班			
	施策	<1> 地域の利便性を高める道路・公共交通の整備				事業分類	1	公的関与	3	
	主要施策	③ 公共交通の整備				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	総務費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	(7) 財政の適切かつ健全な運営								
	重点事項	③ 補助金等の整理・合理化								
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	市内乗合バス運行事業者			目的（どういう状態にしたいのか）					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	自家用自動車の普及等により乗合バスの輸送人員は減少している。しかし、交通弱者の社会活動を保障し、また、今後の高齢化社会や環境問題等の社会情勢に対応するため、バス路線等に補助を行い、公共交通機関としてのバス路線の維持・確保を図る。 現在あるバス路線を維持するため、市内乗合バス事業者に対し、バス運行維持のための補助金を交付し、公共交通機関としてのバス路線の維持・確保に努める。								
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		吉崎市補助金等交付規則								
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）		70,216		70,682		70,684				
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	70,216		70,682		70,684				
人件費（千円）		232		232		232				
内訳	職員（人・千円）	0.04 人	232	0.04 人	232	0.04 人	232			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)		
	①	バスの乗降客数	人	325	400	303	350	350		
	②	路線数	本	30	30	30	30	30		
	③									
設定理由	前年度と比較し、全体の乗客数については22,512人減少している。75歳以上の運賃は、ワンコイン化されているが、減少傾向にある(H26 51,000人 → H27 48,563人 △2,437人)									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 バスは、自らの交通手段を持たない交通弱者にとって市内で唯一の公共交通機関であり、国や県、市で補助を行い、路線の維持を図ることは妥当である。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	説明 通勤・通学及び通院等で自らの交通手段を持たない高齢者や学生などの交通手段として大変有効であり、バス路線の維持は必要である。				
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
個別評価	説明 路線の確保はできているものの乗客数は、減少傾向が続いている。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
総合評価	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 バス路線の確保及び維持を図る上で、市からの補助は不可欠であり、コストの削減等は非常に難しい。				
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	ダイヤ及び路線の廃止等合理的・効率的なバス路線の改善を引き続きバス事業者と協議し、バス利用者の確保及び補助金の軽減を図る。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		防犯対策事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	総務課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～				班名	総務班			
	施策	<3>安全・安心の確保				事業分類	1	公的関与		4
	主要施策	②交通安全の確保と防犯体制の充実					予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本ー！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款		総務費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策								
		重点事項								
市民の参画・協働の手段		沓崎市安全・安心まちづくり推進協議会への参画								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	市民が安全で安心して暮らすことのできる、まちづくりの実現		市民、事業者及び行政が一体となって防犯活動を推進し、犯罪のない社会を目指す。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）									
○防犯活動 犯罪に対する住民の不安を解消するため、警察や地域の団体、事業所等と協力して、防犯パトロールを実施する。 ○防犯対策の啓発 犯罪被害に遭わないように防犯知識を高める。 留守時の施錠、駐車時のドアロック、暴力追放運動の推進、青少年の非行防止と健全育成活動の推進、特殊詐欺対策 ○沓崎市防犯協会連合会（会長：総務部長、事務局：総務課）の行う啓発事業等に610千円を交付する。 主な事業内容：青少年武道大会の開催、地域安全活動、青少年健全育成事業、被害者支援対策、高齢者対策、生活安全ニュース発行、防犯カメラの管理										
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		沓崎市補助金等交付規則								
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）		3,070		610		610				
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源		3,070		610		610			
人件費（千円）		1,162		1,162		1,162				
内訳	職員（人・千円）		0.20 人	1,162	0.20 人	1,162	0.20 人	1,162		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)		
	① 市内犯罪件数		件	115	100	72	60	50		
	② 防犯カメラ設置（管理）個所数		個所	4	4	4	4	4		
	③									
設定理由		各種活動の成果により前年度と比べ犯罪件数が大幅に減少した。今後も継続して防犯・犯罪抑止活動を行い、犯罪のないまちづくりを目指す。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	防犯活動は、行政や地域、事業所等が一体となることが有効であり、青パト車によるパトロールの実施、吉岐市防犯協会連合会のチラシ配布による情報提供などにより、市民の防犯に対する意識を高めることができる。				
	説明				
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
有効性	吉岐市防犯協会連合会は、行政、警察、事業所、市民代表で構成されており、これらの関係機関が一体となって各事業に取り組むことにより、犯罪のない安全・安心なまちをつくることことができる。				
	説明				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	各種活動の成果により前年度と比べ犯罪件数が大幅に減少した。しかし、特殊詐欺による被害等が発生しているため、今後も注意喚起の徹底を行い、被害を防止する。				
	説明				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
効率性	前年度と比べ犯罪件数が大幅に減少しており、一定の成果は得られている。しかしながら、特殊詐欺やサイバー犯罪など新たな手口での犯罪等も発生しており、今後も継続して防犯活動に取り組む必要がある。				
	説明				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	特殊詐欺やサイバー犯罪など新たな手口での犯罪等が発生しており、今後も各関係機関、団体と継続して防犯活動に取り組む。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	